

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141

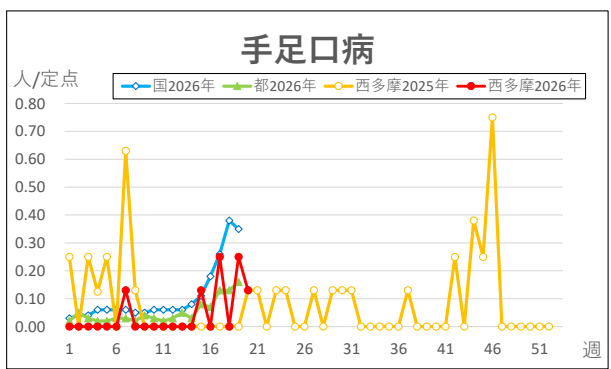
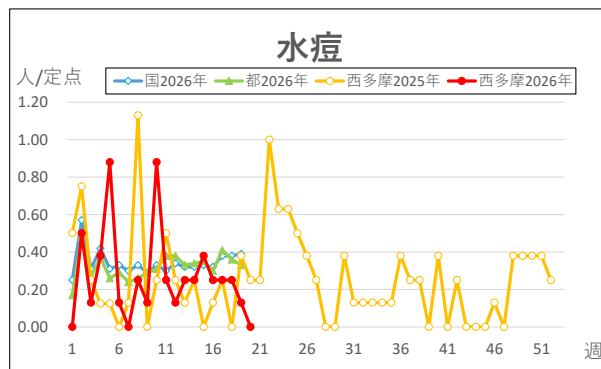
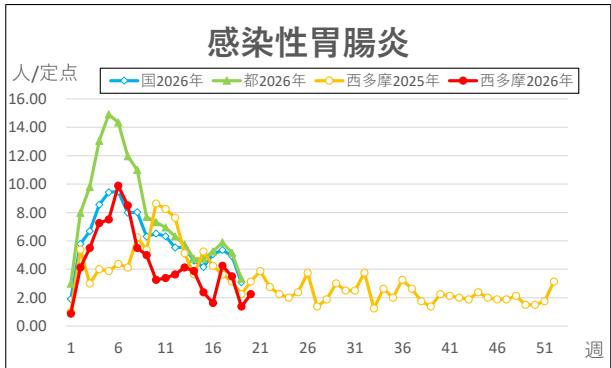
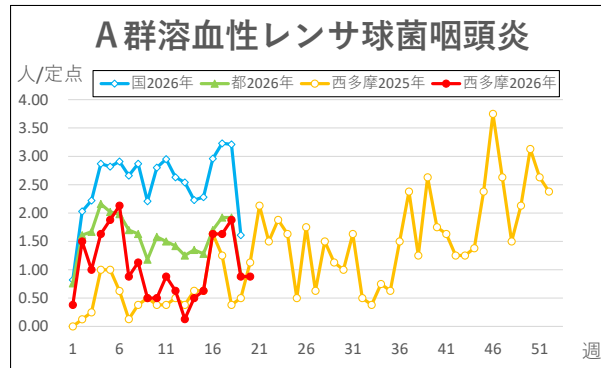
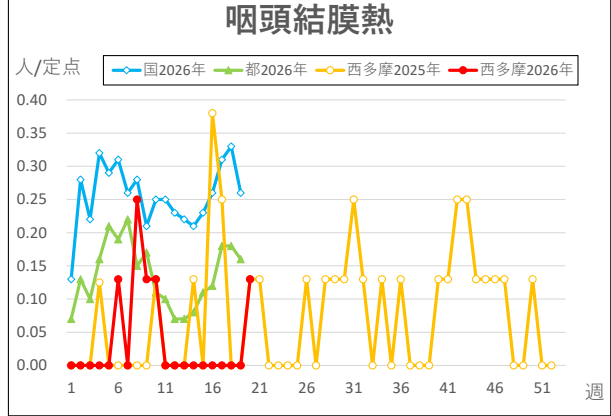
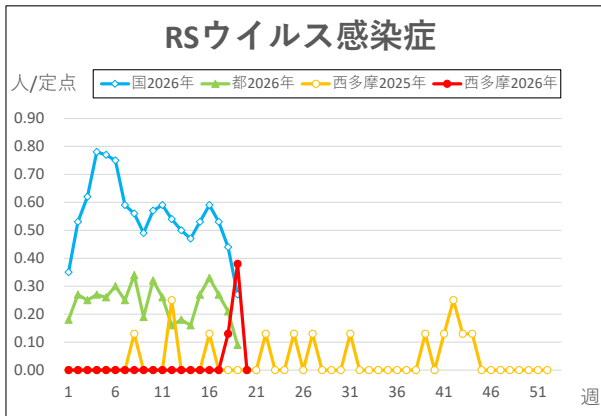
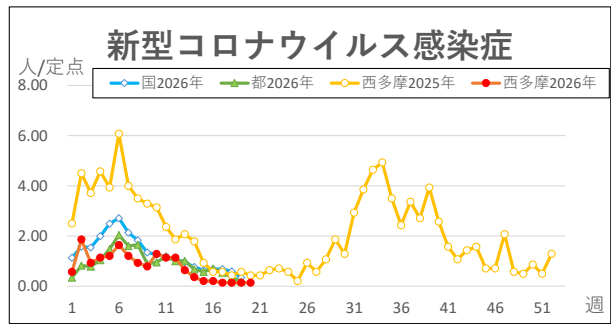
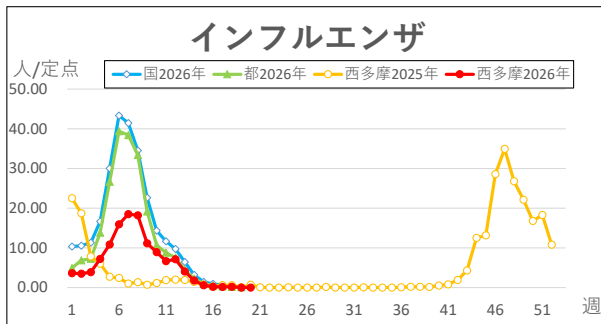


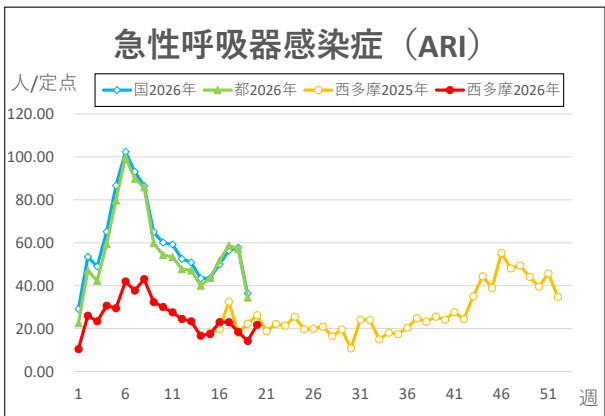
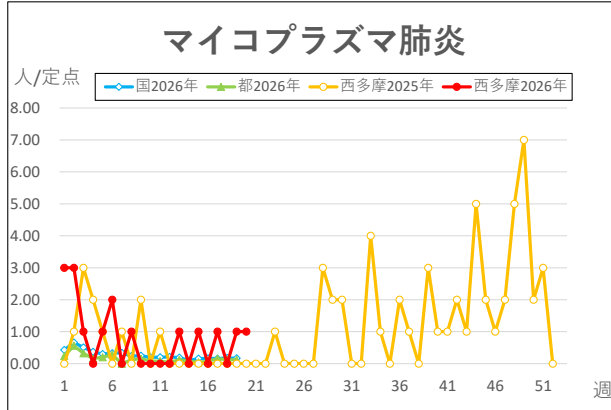
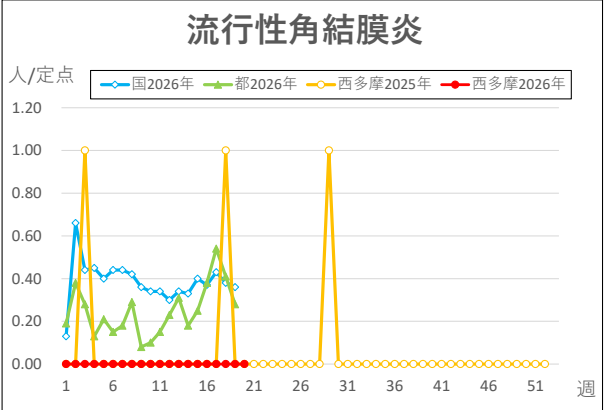
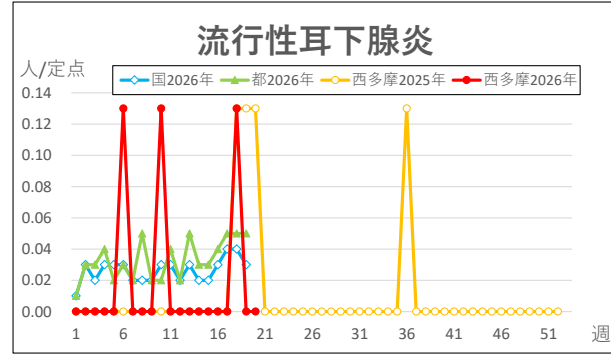
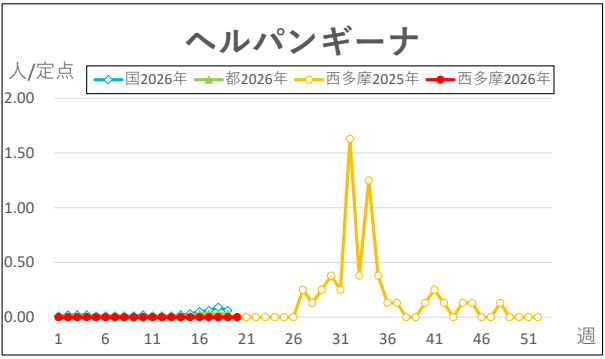
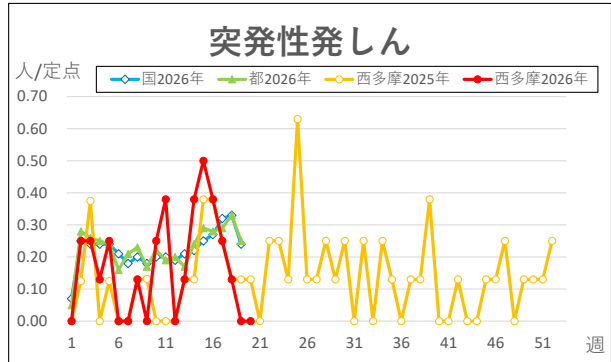
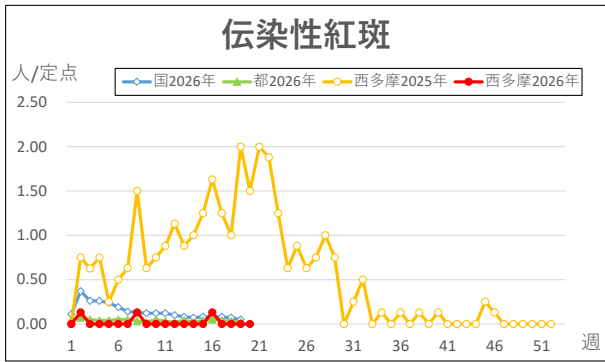
管内の発生動向及び定点把握対象疾患 () は内訳又は前週値

- 全数届出の疾患は、結核3件（50代：女性1名、90代：男性2名）の報告がありました。
- 管内では、急性呼吸器感染症（ARI）が21.71（14.21）、感染性胃腸炎2.25（1.38）が増えています。日頃の体調管理と手洗い、うがいなどの感染予防をして過ごしましょう。
- 管内で麻しんの報告はありません。都内でも麻しん報告は減少していますが引き続き注意が必要です。

管内の感染症集団発生状況 () は内訳

- 今週はインフルエンザ、新型コロナ、感染性胃腸炎等の集団発生はありませんでした。





今週のトピックス

～伝染性軟属腫（みずいぼ）～

子供の頃にみずいぼにかかって、ピンセットでつまんで取られて、、、
苦い思い出のある方も多いのではないのでしょうか。
これから暑くなり、プールの季節になりますので、みずいぼについてお話しします。



どのような病気ですか？

みずいぼは、伝染性軟属腫ウイルスによって人から人へうつる、子どもに多い皮膚の感染症です。皮膚が薄くてバリア機能の未熟な乳幼児は、まだ免疫もなく感染し易いのです。

どのように感染しますか？

みずいぼは掻いてつぶれたり、掻かなくても自然に脱落して、それがまた他の皮膚にくっついてその場所に感染し、次々と広がってしまうことが多いのです。1個できれば、その近くに数個増え、または引っ掻いた指で触ると遠くの皮膚にも感染し、次々と増えてきます。

どのように治療・予防できますか？

治療は、数が少ないうちに摘み取るのが最も確実に早く治す方法です。

ただし、痛みを伴うため、医師によって治療法への見解は分かれることもあります。

痛みが気になる場合、塗り薬や漢方薬などを導入する場合があります。

みずいぼの予防法としては、ドライスキンやアトピー性皮膚炎のようなバリア機能が破たんしている状態をできるだけ改善しておくことです。すなわち保湿剤によるスキンケアと、湿疹の治療をきちんと行うことです。また、スイミングスクールなどへ通う子供は、消毒のための塩素によって皮膚表面が脱脂され感染しやすくなるため、プール後の保湿も大切です。また、兄弟や身近な友達が感染した場合、入浴やタオルを別にし、直接肌と肌を接触させないように注意しましょう。

日本小児皮膚科学会 お役立ちQ&A みずいぼ
https://isped.umin.jp/qa/O1_mizuibo.html

こまめな保湿をして、皮膚を
丈夫な状態に保ちましょう



直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	1週目からの 累計
インフルエンザ	57 (4.07)	25 (1.79)	8 (0.57)	3 (0.21)	2 (0.14)	3 (0.21)	0 (0.00)	0 (0.00)	1,716
新型コロナウイルス感染症	9 (0.64)	5 (0.36)	3 (0.21)	3 (0.21)	2 (0.14)	2 (0.14)	2 (0.14)	2 (0.14)	222
RSウイルス感染症	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	3 (0.38)	0 (0.00)	4
咽頭結膜熱	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 (0.13)	4 (0.50)	5 (0.63)	13 (1.63)	13 (1.63)	15 (1.88)	7 (0.88)	7 (0.88)	169
感染性胃腸炎	33 (4.13)	31 (3.88)	19 (2.38)	13 (1.63)	34 (4.25)	28 (3.50)	11 (1.38)	18 (2.25)	702
水痘（みずぼうそう）	2 (0.25)	2 (0.25)	3 (0.38)	2 (0.25)	2 (0.25)	2 (0.25)	1 (0.13)	0 (0.00)	43
手足口病	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	2 (0.25)	0 (0.00)	2 (0.25)	1 (0.13)	7
伝染性紅斑	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	3
突発性発しん	1 (0.13)	3 (0.38)	4 (0.50)	3 (0.38)	2 (0.25)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	27
ヘルパンギーナ	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	3
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
マイコプラズマ肺炎	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	1 (1.00)	16
急性呼吸器感染症（ARI）	304 (21.71)	234 (16.71)	245 (17.50)	332 (23.71)	322 (23.00)	259 (18.50)	199 (14.21)	304 (21.71)	7,167

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。
 ○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。
 ○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。
 ○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。
 〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmiiph.metro.tokyo.lg.jp/>
 国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>